

整理No. 2018-66, 67, 68		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2018年 12月 8日(土) 3時 10分 天候(晴れ) 温度(- °C)湿度(- %)			
災害区分		不休災害 休業災害(休業:一日)			
被災者A	部門	製造		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他(構内委託)	
	年齢	40歳	性別:(男) 女	勤続年数 8年2か月	経験年数 8年2か月
	被災者B	年齢	32歳	性別:(男) 女	勤続年数 3年5か月 経験年数 3年5か月
	被災者C	年齢	50歳	性別:(男) 女	勤続年数 5年5か月 経験年数 1か月
	傷病名	粉塵吸い込み			
傷病部位					
災害発生状況	<p>粉体原料をホッパーに投入しようとフレコン下部の紐をほどきホッパー内を確認したところ、投入のタイミングが早い事に気づいた。作業員Aは、フレコン下口元を左手で押さえ1階にいた作業員Bに応援を要請した。1階にいたBが2階に来たので、Aが口元を紐で結ぶよう指示したが結べず、Aはフレコンの底を持つのをBと交代し、1階から空フレコンを持ってきて受けたがBが手を放したとたん粉体塗料が一気に落ち舞い上がった。Aは粉塵マスク装着していたが作業指示の為、外したので吸い込み、Bは粉塵マスクを装着していなかったため作業員Cが手渡したが、間に合わず粉塵を吸い込んだ。Cは直接吸い込んでいない。Bはその後吐き気を感じ1階でおう吐。A、Cは喉に違和感を感じたため、3名とも救急車で病院へ搬送。A、Cは特に問題なかったが、Bは念のため検査入院を行い、翌日昼に退院。</p>		状況概略(写真orイラスト) 		
	災害の型 ^{※1)}	8.有害物との接触		作業の形態:(定常)、非定常、その他()	
	起因物:	粉体原料		特記事項	
原因分類	1.人的要因(man)				
	ホッパー内の空を確認せずに、フレコンの紐を解いた。				
	2.物に関する要因(machine)				
	-				
3.環境要因(media)					
呼ばれたので意味が分からずマスクを携帯せずに現場に駆け付けた。					
4.管理的要因(management)					
-					
対策	①フレコンの紐を解いた場合は間違いに気がついても安全第一で止める事は考えずにそのまま仕込むルールを明確にして教育を展開。				
	②注意喚起表示を現場へ表示。				
	③作業時だけでなく工場内ではいつでも(緊急時)マスクは携帯し装着できる体制とした。				
	対策分類 ^{※2)} : 1-3リスクアセスメント、1-4安全設計、2-1マネジメント				